

●グローバル型(グローバル拠点育成)(平成22年~24年度)

富士山麓地域

富士山麓ファルマバレークラスター

URL: <http://www.fuji-pvc.jp>

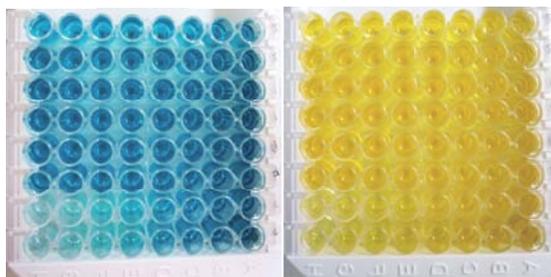
参画機関 (太字は核となる研究機関)

産…アボットジャパン、シスメックス、
医学生物学研究所 ほか
学…**国立遺伝学研究所**、**東京農工大学**、
東京工業大学、静岡県立大学 ほか
官…**静岡県立静岡がんセンター**、
静岡県工業技術研究所
沼津工業技術支援センター ほか

クラスター構想

本事業は、ファルマバレープロジェクトの第2次及び第3次戦略計画の主要プロジェクトと位置付け、都市エリア産学官連携促進事業で形成された産学官連携によるがん診療基盤技術の研究開発をさらに進め、静岡がんセンターの医療現場を分析・活用しながら、強力な“民産学官ネットワーク”のもとで、臨床研究、臨床試験、さらには製品化、事業化を推進し、富士山麓地域にファルマバレー・メディカルクラスターを形成することを目指します。

事業成果



① 血液検査によるがん早期発見技術の開発
(測定機器別キット形体の開発)



② 看護師用
ハンドクリーム

③ デオドラント
“ケア”シート

① 血液検査によるがん早期発見技術の開発

新規腫瘍マーカーによるがんの血液診断法の開発において、タンパク性マーカーの開発を目指してプロテオミクス技術とがん細胞株の無血清培地培養法を組み合わせた新しい腫瘍マーカー探索基盤技術開発を行い、その研究成果として、小細胞肺がんにて特異的なマーカー Proneurotensin (ProNT) を開発し、複数の診断薬メーカーとアライアンスを組み、製品化に取り組んでいます。現在、各メーカーの測定機器に適合したキット形体を開発中です。

② 看護師用ハンドクリーム

静岡県立静岡がんセンターで実施した血液検査によるがん早期発見技術の開発におけるメタボロミクス研究技術を応用し、静岡がんセンターバラ園のバラの花びらのメタボロミクスを行い、本研究成果を用いて手荒対策に悩む看護師向けの高機能ハンドクリームを開発しました。

③ デオドラント“ケア”シート

がん患者は時に強い体臭を呈することがあり、これを病臭といいます。がんにおける代謝物や揮発性成分の変化を探索する目的で、メタボロミクスやボラタイロミクスの手法を駆使し、子宮がん、乳がんの病臭成分分析を行いました。この病臭分析結果に基づいて、病臭のモデル臭を作製し、消臭効果を示す「デオドラント“ケア”シート」を考案し、その製品開発を行いました。

製品化実績等

平成25年の静岡県医療機器生産金額は全国第1位(3,739億円)、医薬品生産金額は全国第2位(6,208億円)、それら合計金額は全国第1位(9,947億円)でした。ハンドクリームおよびデオドラント“ケア”シートの製品売上増を目指した支援を行っていきます。

今後の市場規模(見込み)等

肺がん腫瘍マーカーの市場規模は、平成22年は11億円であり、患者数の増加、予後経過観察、治療選定による需要増により、平成32年には20億円市場に成長すると見込まれています。